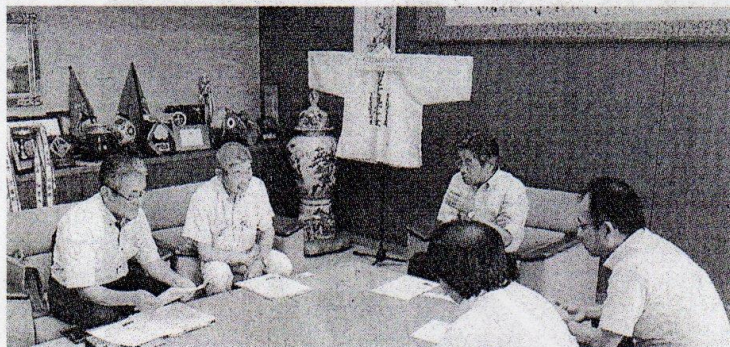


「平和希求」条例に明記を

市民団体 海軍資料館で錦町に要望



資料館に関する要望をする山下完二代表
(左から2人目)らと対応する森本完一町長
(同3人目)＝錦町

「人吉球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク」(山下完二代表)と「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」(高谷和生代表)の2市民団体は7日、錦町が開館した「人吉海軍航空基地資料館」に関し、館設置条例の設置目的に「平和希求」を明記することなどを森本完一町長に要望した。

同館は8月1日開館。同町木上西の人吉海軍航空隊基地跡地に建設され、同隊の歴史を紹介する写真や映像などを展示している。

山下代表ら6人が町役場を訪問。館の愛称の「ひみつ基地」やキ

ャラクターを用いた町のPR方法が「観光目的が第一で戦争の悲惨さが感じられず不適切」と指摘した。

町が基地跡とする範囲も「検証が不十分。隣接する別の海軍施設なども範囲に含んでいるが、壕の構造が違う」として、根拠とするデータの公開を求めた。

森本町長は「館設置の最終目標は平和。条例に文言がなくても、きちんと平和の大切さや戦争の悲惨さを学べる」と、条例改定はしない考えを示した。データ公開などは「しっかり検証、調査をしていく」と述べた。

(中村悠)